55　P午前

◎　指示があるまで開かないこと。

（令和2年2月23日　9時50分～12時30分）

注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。

2. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

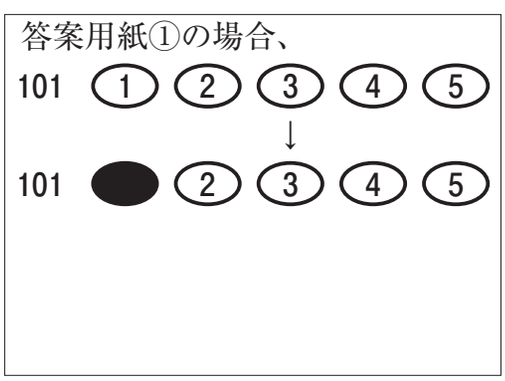
(例1) **101** 破傷風菌の純粋培養に成功した人物はどれか。

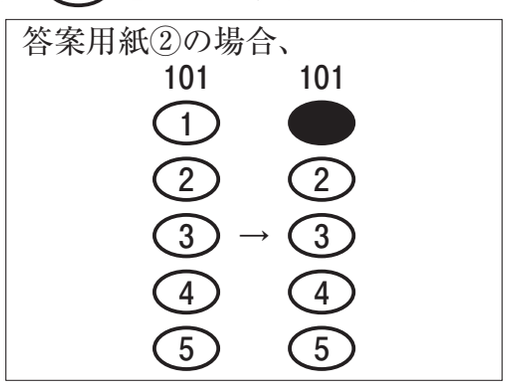
1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) **102** 解体新書を完成させた人物はどれか。**2つ選べ**。

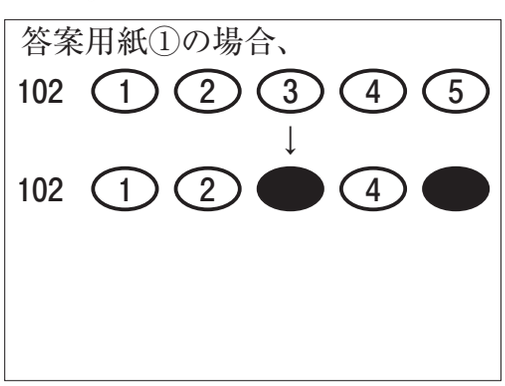
1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

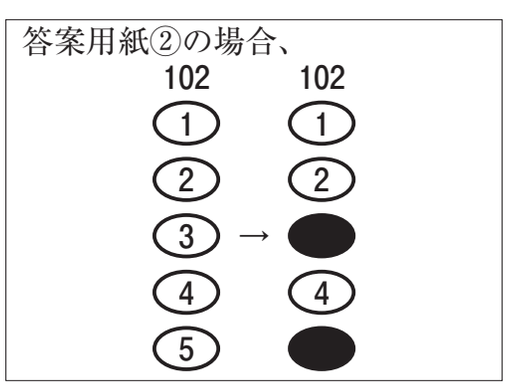
(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の ① をマークすればよい。





(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の ③ と ⑤ をマークすればよい。





(2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。

2. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) **101** 破傷風菌の純粋培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) **102** 解体新書を完成させた人物はどれか。**2つ選べ**。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の

問題番号	答
101	

の「答」の欄に

問題番号	答
101	1

と記入すればよい。

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の

問題番号	答
102	

の「答」の欄に

問題番号	答
102	3　5

と記入すればよい。

答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことにならないので注意すること。

(2) ア.(例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

イ.(例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎ 指示があるまで開かないこと。

1　病気Ｘの有無を調べる検査の感度、特異度、陽性的中率、陰性的中率を表に示す。正しいのはどれか。**2つ選べ**。

感　度	80％
特異度	95％
陽性的中率	85％
陰性的中率	90％

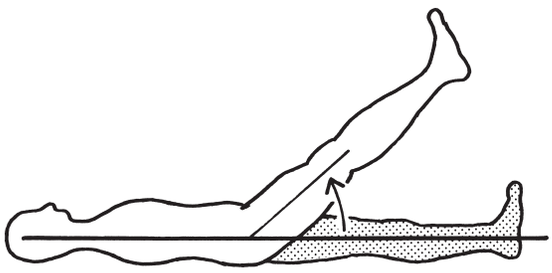
1.　病気Ｘに罹患している人で、検査が正しく陽性と判定された確率は85％である。
2.　病気Ｘに罹患していない人で、検査が正しく陰性と判定された確率は95％である。
3.　病気Ｘを判定する検査が陽性の場合、真に病気Ｘに罹患している確率は80％である。
4.　病気Ｘを判定する検査が陰性の場合、真に病気Ｘに罹患している確率は15％である。
5.　病気Ｘを判定する検査が陰性の場合、真に病気Ｘに罹患していない確率は90％である。

2　心電図(**別冊**No. **1**)を別に示す。
この心電図の所見で正しいのはどれか。

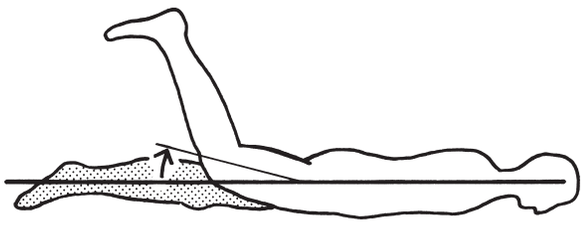
1.　心房細動
2.　洞性徐脈
3.　心室性期外収縮
4.　心房性期外収縮
5.　Ⅰ度房室ブロック

別　冊
No. **1**

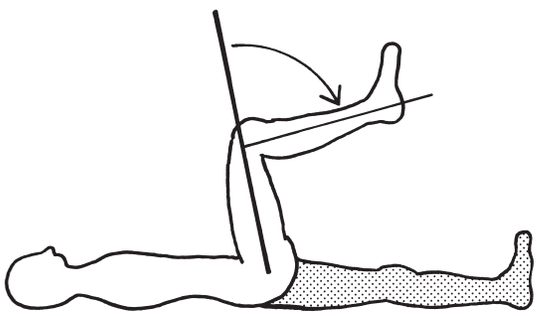
3　関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)における右下肢関節の測定肢位で正しいのはどれか。



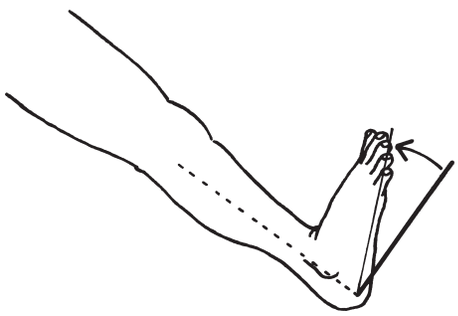
1.　股屈曲



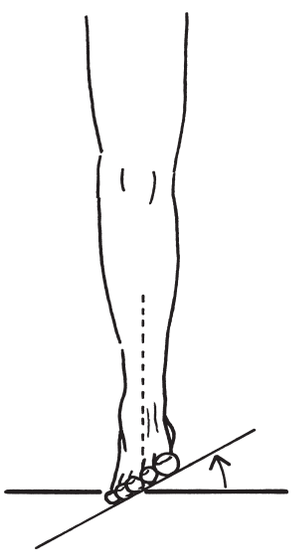
2.　股伸展



3.　膝屈曲



4.　足背屈



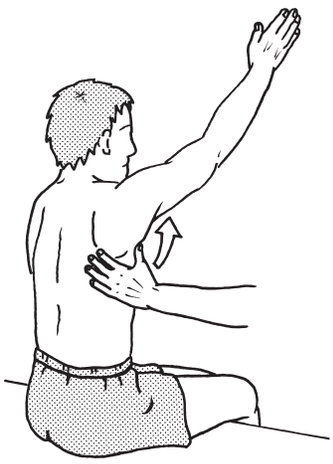
5.　足部内がえし

：基本軸

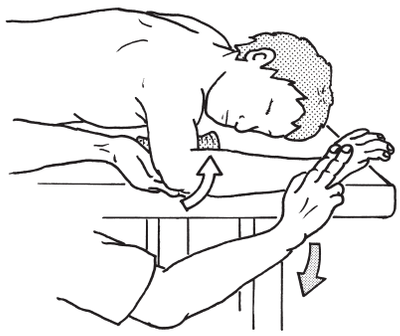
：移動軸

4 Daniels らの徒手筋力テストによる検査方法を図に示す。

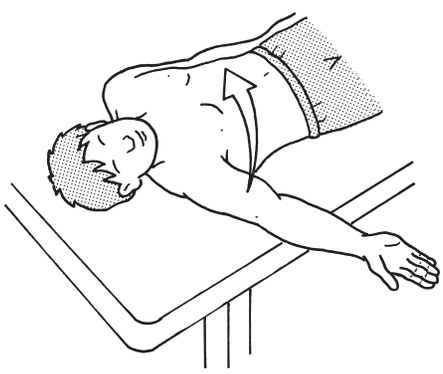
正しいのはどれか。



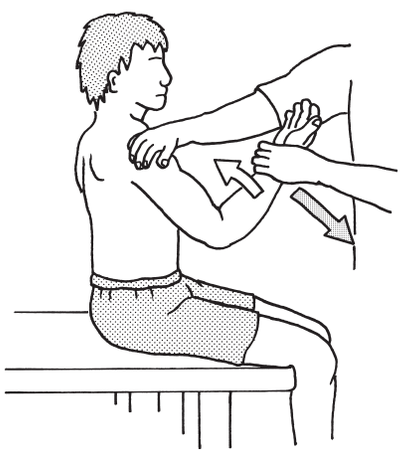
1.　前鋸筋の段階 3



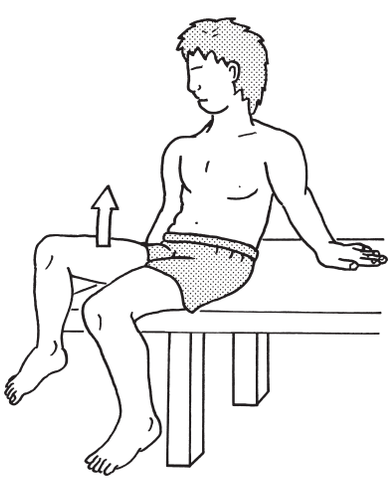
2.　肩関節外旋筋群の段階 4



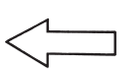
3.　大胸筋の段階 3



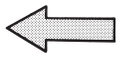
4.　腕橈骨筋の段階 4



5.　腸腰筋の段階 3



：対象者の運動方向



：検査者が抵抗を加える方向

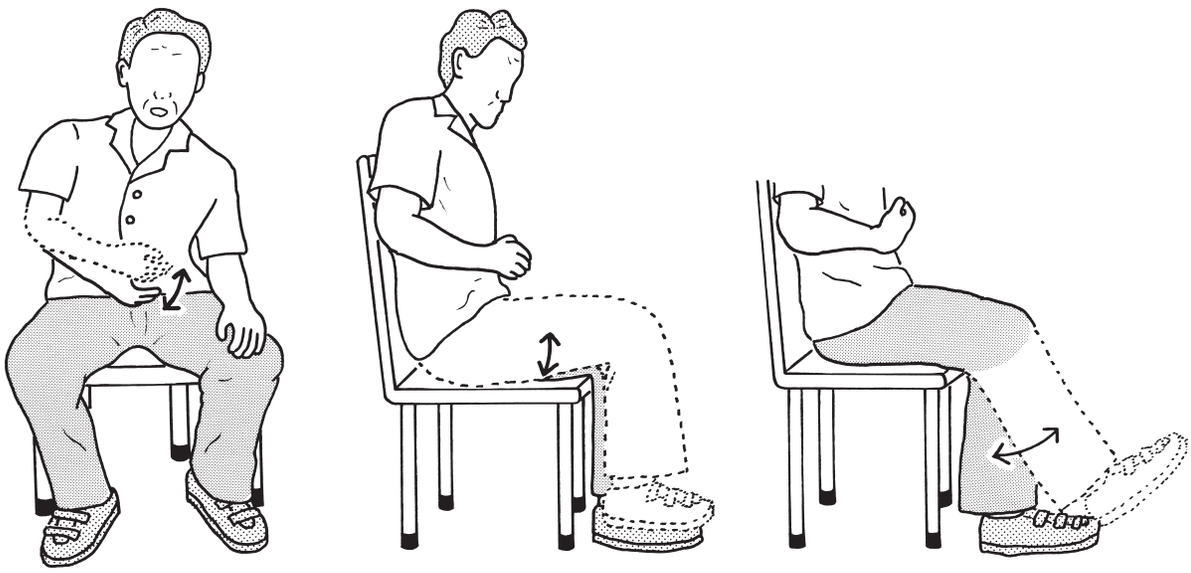
5　80 歳の女性。慢性心不全。NYHA 分類 class Ⅲ である。急性増悪にて入院加療後、退院した。自宅での ADL は、Barthel Index による評価で、食事、移乗、整容、トイレ動作、入浴、着替え、排便、排尿は自立、歩行は歩行器使用にて 45 m 以上可能である。階段昇降は部分介助を要する。

この患者の Barthel Index の点数はどれか。

1.　75 点
2.　80 点
3.　85 点
4.　90 点
5.　95 点

6　脳卒中機能評価法〈SIAS〉の麻痺側運動機能テストの様子を図に示す。

関節拘縮がない場合、３つのテストの合計点はどれか。



膝・口テスト　　股屈曲テスト　　膝伸展テスト

1.　５点

2.　６点

3.　７点

4.　８点

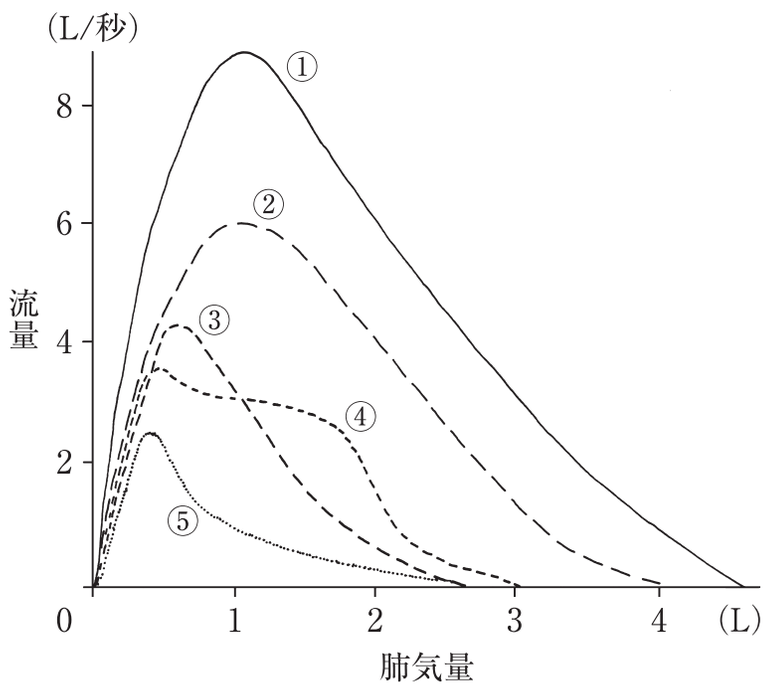
5.　９点

次の文を読み７、８の問いに答えよ。

75 歳の男性。身長 170 cm、体重 48 kg、BMI 16.6。約 10 年前から呼吸困難が出現し自宅近くの医院で加療していた。徐々に呼吸困難感が増悪してきており、50 m 程度の連続歩行で呼吸困難感のため休息が必要である。動脈血ガス分析 PaO_2 65 Torr、$PaCO_2$ 48 Torr、肺機能検査 %VC 81 %、FEV_1% 31 % であった。患者の胸部エックス線写真(**別冊**No. **2**)を別に示す。

別　冊
No. **2**

7　予測されるフローボリューム曲線として最も適切なのはどれか。



1.　①
2.　②
3.　③
4.　④
5.　⑤

8　この患者の運動療法を中止すべき状態として最も適切なのはどれか。

1.　SpO_2 82 %

2.　呼吸数 22/分

3.　心拍数 105/分

4.　修正 Borg 指数 5

5.　収縮期血圧が安静時より 20 mmHg 上昇

9　74 歳の男性。肺尖部がんによる腕神経叢への直接浸潤により環指・小指～前腕中央・内側にかけて痛覚過敏を訴えている。

腕神経叢への浸潤部位はどれか。

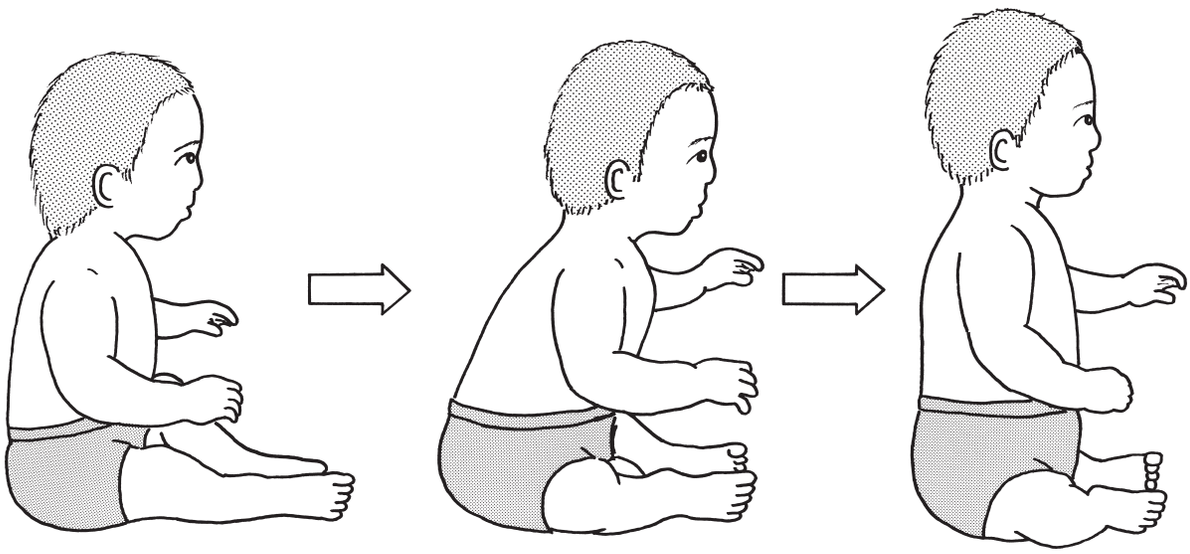
1.　C7 神経根
2.　C8 神経根
3.　下神経幹
4.　外側神経束
5.　後神経束

10　27 歳の男性。脊髄完全損傷（第 5 胸髄節まで機能残存）。日常生活は車椅子使用にて自立している。設計事務所に勤務しており、長時間のデスクワークを行うことが多い。多忙のため除圧を行う機会が少なくなっている。

この状況が続いた場合、褥瘡が生じる可能性が最も高い部位はどれか。

1.　肩甲部
2.　膝窩部
3.　仙骨部
4.　肘頭部
5.　腸骨部

11　図のような移動(シャフリング)をする乳児に促す姿勢や運動で最も適切なのはどれか。



1.　椅子座位
2.　起き上がり
3.　寝返り
4.　背臥位
5.　腹這い

12　66 歳の女性。左中大脳動脈領域のアテローム血栓性脳梗塞で Broca 失語と重度の右片麻痺を認める。

理学療法実施の際、コミュニケーションに対する配慮で正しいのはどれか。

1.　使用頻度の低い単語を用いる。
2.　出にくい言葉は先回りして言う。
3.　できるだけ長い文章で話しかける。
4.　意思伝達には易しい漢字を用いる。
5.　ジェスチャーは可能な限り用いない。

13　60 歳の女性。転倒して右肩関節痛を訴えた。エックス線写真(**別冊**No. **3**)を別に示す。

まず患部に行うべき治療はどれか。

1.　ギプス固定

2.　極超短波治療

3.　三角巾固定

4.　髄内釘固定

5.　超音波治療

別　冊
No. **3**

14　65 歳の男性。変形性頸椎症。2 年前から肩こりがあり、2 か月前から頸部伸展時に右手の母指にしびれが出現し、右上肢のだるさと脱力感を自覚するようになった。下肢の症状やバランス不良はみられない。

右上肢において筋力低下が最も生じやすいのはどれか。

1.　三角筋

2.　上腕三頭筋

3.　上腕二頭筋

4.　尺側手根屈筋

5.　長橈側手根伸筋

15　75 歳の女性。Parkinson 病。Hoehn & Yahr の重症度分類ステージⅣ。歩行時に小刻み歩行、突進現象、すくみ足が出現する。

歩行練習として適切なのはどれか。

1.　速く歩く。

2.　広いところで歩く。

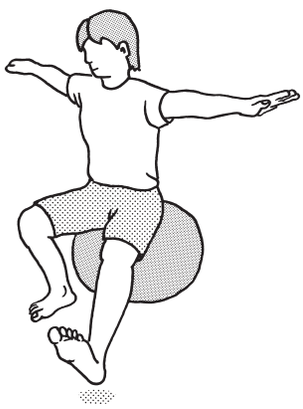
3.　床に引いた一本線上を歩く。

4.　目標地点の手前を注視して歩く。

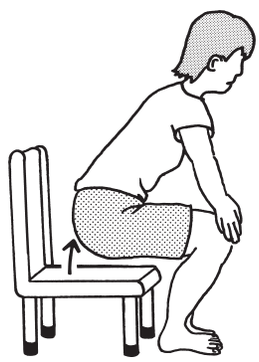
5.　お盆に載せたコップを運びながら歩く。

16　60 歳の女性。脊髄小脳変性症。四肢体幹の運動失調で座位保持が困難であったが、2 週間の座位保持練習を行い、端座位は上肢で支持しなくても保持できるようになった。

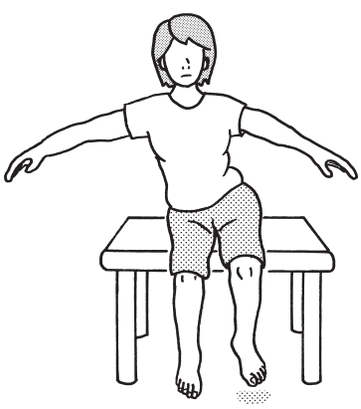
今後行うバランス能力改善の運動療法として最も適切なのはどれか。



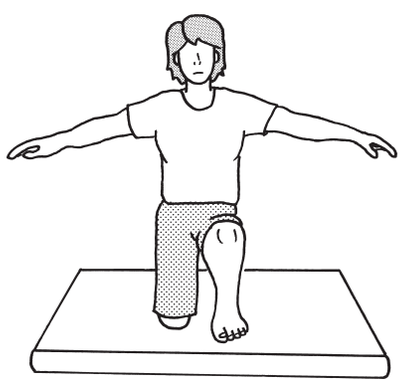
1.　セラピーボール上座位で上肢下肢の挙上



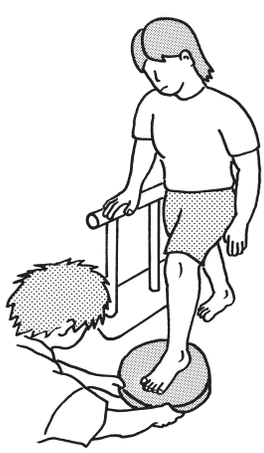
2.　端座位からの立ち上がり練習



3.　端座位での重心移動練習



4.　片膝立ち位での上肢挙上



5.　立位で不安定板を用いた荷重練習

17　55 歳の女性。8 年前に多発性硬化症と診断され、再発や寛解を繰り返し、2 回の入院歴がある。現在は症状が落ち着いており、訪問理学療法で屋外歩行練習が実施されている。その際、理学療法士は運動強度を軽度から中等度とし、かつ、外気温の高い時間帯を避けて実施するなどに留意している。

この理由として関係するのはどれか。

1. Barré 徴候
2. Horner 徴候
3. Lhermitte 徴候
4. Tinel 徴候
5. Uhthoff 徴候

18　32 歳の女性。2 週前に上気道炎を発症し、5 日前から四肢末端の異常感覚を自覚した。その後、徐々に四肢の脱力を認めた。Guillain-Barré 症候群と診断され、直ちに γ-グロブリン大量静注療法を開始した。入院時の四肢筋力は MMT で段階 4 であったが、入院 2 日後には顔面筋麻痺と構音・嚥下障害が出現し、翌日には痰が多く呼吸困難が出現したため、気管挿管され人工呼吸器管理となった。四肢筋力は近位筋で段階 1、その他は段階 2 ～ 3 に低下している。

現時点で優先される治療はどれか。

1. 機能的電気刺激
2. 筋力増強運動
3. 座位練習
4. 自発呼吸練習
5. 排痰練習

19　8歳の女児。顕在性二分脊椎。Sharrardの分類はⅣ群である。

歩行練習の実施方法で適切なのはどれか。

1.　靴型装具を使用する。
2.　長下肢装具を使用する。
3.　短下肢装具とロフストランド杖を併用する。
4.　長下肢装具とロフストランド杖を併用する。
5.　骨盤帯付き長下肢装具とPCW〈postural control walker〉を併用する。

20　85歳の女性。自宅仏壇のろうそくの火が右袖に引火し、右前腕から前胸部および顔面にⅢ度5％とⅡ度15％の熱傷および気道熱傷を受傷した。受傷翌日に前胸部から右前腕前面にかけて植皮術を実施した。

術後早期から開始する理学療法として正しいのはどれか。

1.　squeezingによる排痰を実施する。
2.　前腕は最大回内位に保持する。
3.　肩関節は外転位に保持する。
4.　筋力増強運動は禁止する。
5.　起立歩行は禁止する。

21　臨床研究を実施する上で**適切でない**のはどれか。

1.　研究対象はポスターを用いて募集した。
2.　研究の内容について対象者に書面を見せながら口頭で説明した。
3.　データ処理を匿名化で行った。
4.　得られたデータはパソコンの共有フォルダで保管した。
5.　対象者からの研究の同意への撤回請求に応じた。

22　ICF の評価点とその内容の組合せで正しいのはどれか。

1.　活動と参加の能力の評価点 ―――― 促進あるいは阻害する程度
2.　環境因子の第一評価点 ―――――― 個人の遂行能力
3.　身体構造の第一評価点 ―――――― 機能障害の程度や大きさ
4.　身体構造の第二評価点 ―――――― 各身体部位における変化の性質
5.　心身機能の第一評価点 ―――――― 構造障害の程度や大きさ

23　インシデントレポート収集の目的で正しいのはどれか。

1.　責任者を処罰する。
2.　監督官庁に報告する。
3.　医療事故発生防止策を検討する。
4.　施設管理者が解決策を検討する。
5.　当事者間でインシデントの原因を検討する。

24　肺音で正しいのはどれか。

1.　気管呼吸音は吸気より呼気の方が大きい。
2.　気管支呼吸音は吸気のみに聴取される。
3.　笛音(wheezes)は吸気初期に聴取されやすい。
4.　捻髪音(fine crackles)は呼気に聴取されやすい。
5.　肺胞呼吸音は呼気終末に強くなる。

25　健常成人の血圧に関して正しいのはどれか。**2 つ選べ**。

1.　背臥位では立位に比べて脈圧が小さい。
2.　足関節上腕血圧比の基準値は 1.5〜2.0 である。
3.　上腕部では足部と比べて収縮期血圧が低くなる。
4.　座位での測定はマンシェットを心臓の高さに合わせる。
5.　Korotkoff 音が聞こえなくなった時点での圧を収縮期血圧とする。

26　関節可動域測定法（日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による）における股関節の参考可動域角度で正しいのはどれか。

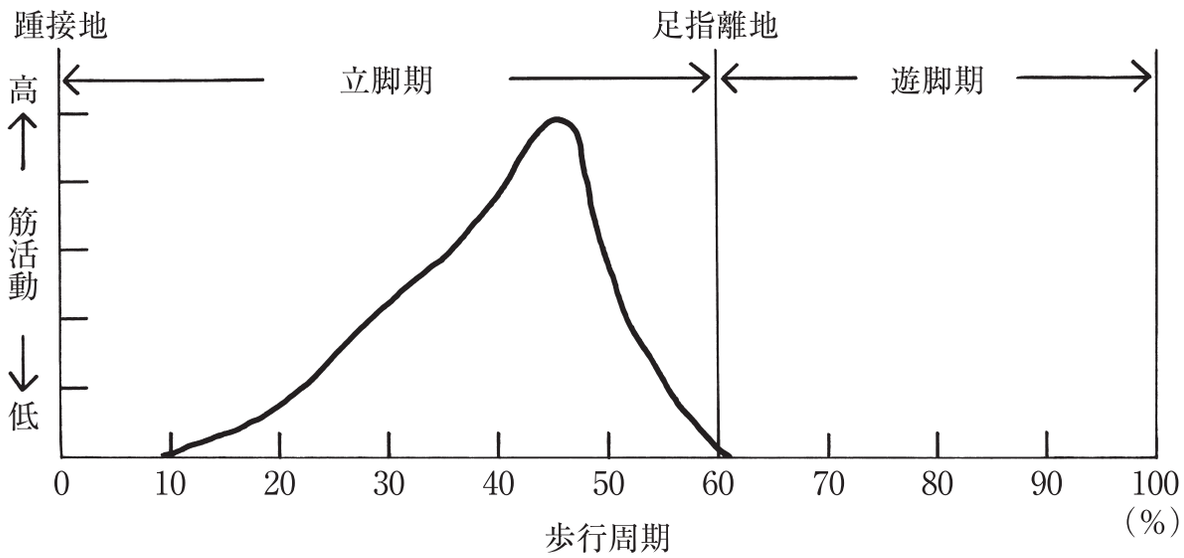
1.　外　旋：20°
2.　外　転：20°
3.　屈　曲：110°
4.　伸　展：15°
5.　内　旋：20°

27　「歯を磨くまねをしてください」という口頭命令ではうまくできないが、自発的には歯磨きができる状態はどれか。

1.　観念失行
2.　拮抗失行
3.　構成失行
4.　観念運動失行
5.　肢節運動失行

28　歩行周期と筋活動パターンの関係を図に示す。

このグラフが示す特徴をもつ筋はどれか。



1.　大殿筋

2.　中殿筋

3.　大腿四頭筋

4.　ハムストリングス

5.　下腿三頭筋

29　義足の遊脚相において下腿部の振り出し速度を制御する膝継手はどれか。

1.　固定膝

2.　可変摩擦膝

3.　荷重ブレーキ膝

4.　バウンシング機構付き

5.　イールディング機構付き

30　胸腰仙椎装具で正しいのはどれか。

1.　後方支柱は棘突起の直上に位置させる。
2.　骨盤帯の位置は大転子と腸骨稜の間である。
3.　側方支柱は骨盤帯と肩甲間バンドを結合する。
4.　胸椎バンドの位置は肩甲骨の下 1/3 の高さである。
5.　腹部前当ての上縁の位置は剣状突起の高さである。

31　変形性膝関節症で正しいのはどれか。**2 つ選べ**。

1.　二次性が多い。
2.　男性に好発する。
3.　外反変形を生じやすい。
4.　運動開始時に疼痛がある。
5.　大腿四頭筋の萎縮を認める。

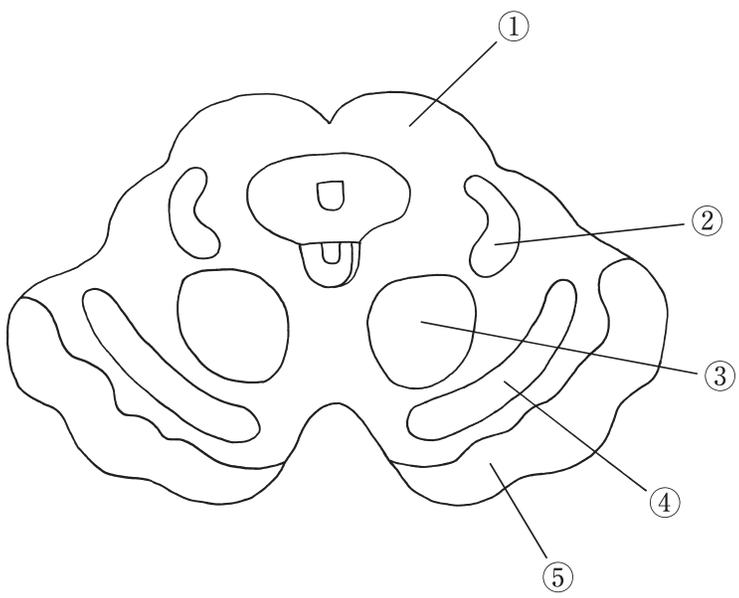
32　Froment 徴候が陽性のとき、麻痺を疑うべき神経はどれか。

1.　肩甲背神経
2.　尺骨神経
3.　正中神経
4.　長胸神経
5.　橈骨神経

33　肩関節の関節可動域が屈曲 100°、伸展 10°、外転 60°、外旋 5°、内旋 45° の肩関節周囲炎患者で障害されやすい動作はどれか。

1.　洗顔動作
2.　結髪動作
3.　靴下の着脱
4.　爪切り動作
5.　歯磨き動作

34　中脳（水平断）を図に示す。
Parkinson 病の病変部位はどれか。



1.　①
2.　②
3.　③
4.　④
5.　⑤

35　筋萎縮性側索硬化症で下位運動ニューロン障害の徴候はどれか。

1.　痙　縮
2.　仮性球麻痺
3.　線維束性収縮
4.　腹壁反射消失
5.　アキレス腱反射亢進

36　6分間歩行テストで正しいのはどれか。**2つ選べ**。

1.　自覚症状の変化を記録する。
2.　被験者の斜め前方に並んで歩く。
3.　6分間の総歩行距離で評価する。
4.　被験者に残りの時間を伝えることはできない。
5.　被験者が途中で立ち止まった場合にはテストを中止する。

37　関節可動域運動で正しいのはどれか。

1.　筋収縮を伴ってはならない。
2.　意識障害がある場合は行わない。
3.　運動麻痺の改善を目的として行う。
4.　拘縮の予防・改善を目的として行う。
5.　深部感覚障害がある場合は行わない。

38　筋力増強運動として求心性収縮を用いた抵抗運動を行う際、対象筋と運動方向の組合せで正しいのはどれか。

1.　ハムストリングス ――― 膝関節屈曲 90° 位での股関節伸展
2.　上腕二頭筋 ――――― 肘関節伸展 0° 位かつ前腕回外位での肩関節伸展
3.　上腕三頭筋 ――――― 肘関節屈曲 90° 位での肩関節水平内転
4.　前脛骨筋 ――――― 足外がえし位での足関節背屈
5.　中殿筋 ――――― 股関節伸展 0° 位での股関節外転

39　神経筋再教育で正しいのはどれか。

1.　随意運動を促通する。
2.　神経断裂に適応される。
3.　自動介助運動は用いない。
4.　関節障害には適応されない。
5.　意識レベルが JCSⅢ-200 にも適応される。

40　寒冷療法の作用で正しいのはどれか。

1.　滑液粘性の低下
2.　疼痛閾値の低下
3.　神経伝導速度の増加
4.　筋紡錘の感受性の減弱
5.　毛細血管透過性の亢進

41　外側ストラップ付き金属支柱付き短下肢装具の使用が最も適切なのはどれか。

1.　歩行中の膝折れ

2.　足クローヌス

3.　深部感覚障害

4.　内反尖足

5.　外反膝

42　慢性心不全患者に対する運動療法の効果で正しいのはどれか。**2 つ選べ**。

1.　BNP の増加

2.　QOL の改善

3.　運動耐容能の向上

4.　左室駆出率の低下

5.　交感神経活性の亢進

43　慢性腰痛に対する認知行動療法で**誤っている**のはどれか。

1.　痛みの有無を頻回に確認する。

2.　腰痛の不安を解消する映像を見せる。

3.　腰を反らしても痛まない体験を繰り返させる。

4.　痛みがあっても行える活動があることを認識させる。

5.　適切な身体活動は痛みを増悪させないことを説明する。

44　外反肘をきたしやすいのはどれか。

1.　尺骨肘頭骨折
2.　上腕骨外顆骨折
3.　上腕骨顆上骨折
4.　上腕骨内側上顆骨折
5.　橈骨小頭骨折

45　脳卒中後の左片麻痺患者に対する ADL 練習として正しいのはどれか。

1.　上衣を右上肢から着衣する。
2.　浴槽に右下肢からまたいで入る。
3.　階段を上るときに左下肢を先に出す。
4.　階段を下りるときに右下肢を先に出す。
5.　車椅子からベッドに移乗するときに左半身をベッドに寄せる。

46　多発性筋炎の回復初期における理学療法で正しいのはどれか。

1.　運動負荷量は血小板数を目安に設定する。
2.　筋力トレーニングは四肢の遠位筋を中心に行う。
3.　間質性肺炎の合併に注意してプログラムを進める。
4.　手指の冷感に対して手部および手指へのホットパックを行う。
5.　筋痛があれば抵抗を減らし、時間を延長して筋力トレーニングを継続する。

47　Down 症候群の児に対して乳児期に行う理学療法で適切なのはどれか。

1.　腹筋群の収縮を促す。
2.　不随意運動を抑制する。
3.　背這いを移動手段とする。
4.　緊張性迷路反射を促通する。
5.　定頸後すぐに立位姿勢を経験させる。

48　廃用症候群の症状と予防法の組合せで**誤っている**のはどれか。

1.　起立性低血圧 ―――― 離　床
2.　筋力低下 ―――――― 神経筋電気刺激
3.　骨萎縮 ―――――― 機能的電気刺激
4.　褥　瘡 ―――――― 体位変換
5.　深部静脈血栓 ―――― 弾性ストッキング

49　ノーマライゼーションで正しいのはどれか。

1.　障害者の隔離
2.　心身機能の正常化
3.　身体構造の正常化
4.　障害により受ける差別の解消
5.　大規模施設(コロニー)への入所推進

50　介護保険法で貸与の対象と**ならない**のはどれか。

1.　車椅子

2.　歩行器

3.　スロープ

4.　体位変換器

5.　ポータブルトイレ

51　自律神経系の機能をもつのはどれか。

1.　視神経

2.　滑車神経

3.　三叉神経

4.　迷走神経

5.　舌下神経

52　錐体路を含むのはどれか。

1.　脳　梁

2.　大脳脚

3.　上小脳脚

4.　中小脳脚

5.　下小脳脚

53　関節と関節構造の組合せで正しいのはどれか。

1.　手の MP 関節 ―――― らせん関節

2.　橈骨手根関節 ―――― 鞍関節

3.　上橈尺関節 ―――― 顆状関節

4.　腕尺関節 ―――― 蝶番関節

5.　肩鎖関節 ―――― 平面関節

54　手根管を**通過しない**のはどれか。

1.　深指屈筋腱

2.　浅指屈筋腱

3.　長母指屈筋腱

4.　尺側手根屈筋腱

5.　橈側手根屈筋腱

55　腰神経叢に含まれるのはどれか。

1.　陰部神経

2.　下殿神経

3.　坐骨神経

4.　上殿神経

5.　大腿神経

56　下大静脈に直接入るのはどれか。**2 つ選べ**。

1.　肝静脈

2.　胃静脈

3.　脾静脈

4.　空回腸静脈

5.　腎静脈

57　気管支について正しいのはどれか。

1.　気管支には平滑筋がある。

2.　左主気管支は右主気管支より短い。

3.　気管支の内表面は扁平上皮で覆われる。

4.　気管分岐部は食道の第１狭窄部にある。

5.　気管の延長線に対する気管支の分岐角度は左より右の方が大きい。

58　後腹膜腔に存在するのはどれか。

1.　胃

2.　空　腸

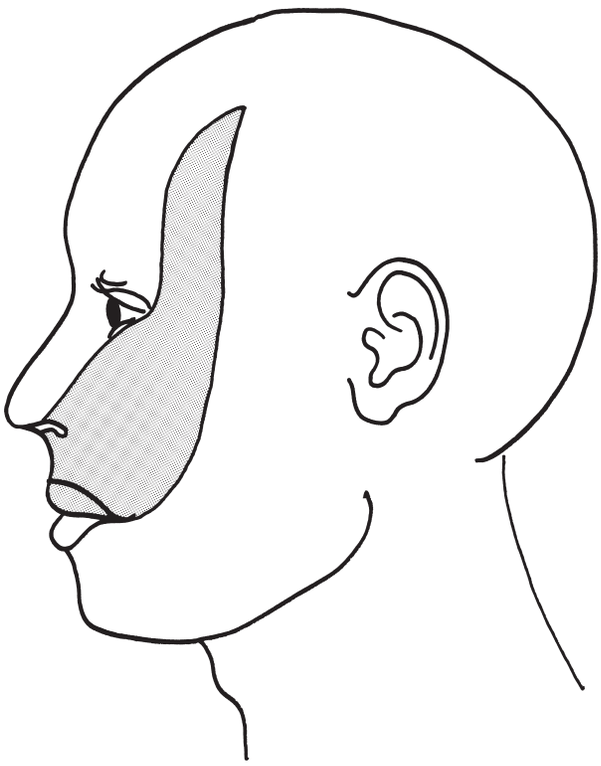
3.　膵　臓

4.　横行結腸

5.　S 状結腸

59　左顔面を図に示す。

網かけ部分を支配している感覚神経はどれか。



1.　眼神経

2.　顔面神経

3.　鼓室神経

4.　耳介側頭神経

5.　上顎神経

60　線毛上皮があるのはどれか。

1.　腟

2.　子　宮

3.　尿　管

4.　膀　胱

5.　卵　管

61　副腎髄質から分泌されるホルモンはどれか。**2 つ選べ**。

1.　アドレナリン
2.　アルドステロン
3.　アンドロゲン
4.　コルチゾール
5.　ノルアドレナリン

62　骨格筋の筋収縮において筋小胞体から放出された Ca^{2+} が結合するのはどれか。

1.　アクチン
2.　ミオシン
3.　トロポニン
4.　ミオグロビン
5.　トロポミオシン

63　交感神経の作用はどれか。

1.　瞳孔を縮小させる。
2.　排尿を促進させる。
3.　気管支を拡張させる。
4.　心拍数を減少させる。
5.　胃腸の運動を促進させる。

64　呼吸生理の説明で正しいのはどれか。

1.　呼吸中枢は視床下部にある。

2.　外肋間筋は安静呼吸の呼気筋として作用する。

3.　内呼吸とは肺胞と毛細血管との間のガス交換をいう。

4.　動脈血二酸化炭素分圧が上昇するとヘモグロビンから酸素が解離しやすくなる。

5.　頸動脈小体は動脈血酸素分圧よりも動脈血二酸化炭素分圧の変化を感知しやすい。

65　血液凝固因子はどれか。**2つ選べ**。

1.　アルブミン

2.　トロンビン

3.　ヘモグロビン

4.　フィブリノゲン

5.　エリスロポエチン

66　排便の随意的な制御に関わるのはどれか。

1.　陰部神経

2.　下殿神経

3.　下腹神経

4.　骨盤神経

5.　閉鎖神経

67　腎臓の排尿機構で正しいのはどれか。

1.　Bowman 嚢は集合管に接続する。

2.　近位尿細管では Na^+ が再吸収される。

3.　ネフロンは糸球体と近位尿細管から構成される。

4.　糸球体ではアルブミンは水よりも濾過されやすい。

5.　糸球体濾過量は健常成人では１日に１～1.5Ｌである。

68　体温調節の中枢で正しいのはどれか。

1.　中　脳

2.　扁桃体

3.　視床下部

4.　小脳虫部

5.　補足運動野

69　肩甲上腕関節の運動とそれに作用する筋の組合せで正しいのはどれか。

1.　屈　曲 ――――― 棘下筋

2.　伸　展 ――――― 棘上筋

3.　内　転 ――――― 広背筋

4.　外　転 ――――― 上腕三頭筋

5.　内　旋 ――――― 烏口腕筋

70　手の内在筋プラス肢位の組合せで正しいのはどれか。

1.　MP 関節屈曲－PIP 関節伸展－DIP 関節屈曲
2.　MP 関節伸展－PIP 関節屈曲－DIP 関節屈曲
3.　MP 関節屈曲－PIP 関節伸展－DIP 関節伸展
4.　MP 関節伸展－PIP 関節屈曲－DIP 関節伸展
5.　MP 関節屈曲－PIP 関節屈曲－DIP 関節伸展

71　膝関節屈曲に作用する筋はどれか。

1.　外閉鎖筋
2.　大内転筋
3.　恥骨筋
4.　長内転筋
5.　薄　筋

72　快適歩行から速度を速めた際の変化で正しいのはどれか。

1.　歩幅は減少する。
2.　重心の上下動は減少する。
3.　立脚相の時間は減少する。
4.　股関節の屈曲角度は減少する。
5.　体幹の水平面内回旋運動は減少する。

73　肺機能検査とその説明の組合せで正しいのはどれか。

1.　１秒量 ―――――――― 安静呼気の呼出開始から１秒間に呼出した肺気量
2.　残気量 ―――――――― 安静呼気位に肺内に残存した肺気量
3.　肺活量 ―――――――― 最大吸気位からゆっくりと最大呼気位まで呼出した肺気量
4.　拘束性換気障害 ――― % 肺活量 90 % 未満
5.　閉塞性換気障害 ――― １秒率 80 % 未満

74　運動学習における結果の知識〈KR〉が与えられるのはどれか。

1.　フリースロー時の肘の伸ばし具合を指導する。
2.　投げた球がストライクかどうかを教える。
3.　ボーリングのスコアの付け方を教える。
4.　バレーボールのルールを教える。
5.　平泳ぎの手の使い方を教える。

75　胎児期に感染することで先天性奇形を生じるのはどれか。

1.　MRSA
2.　結核菌
3.　風疹ウイルス
4.　B 型肝炎ウイルス
5.　ヘリコバクター・ピロリ菌

76　小脳橋角部に最も多い脳腫瘍はどれか。

1.　腺　腫

2.　髄膜腫

3.　血管芽腫

4.　神経膠腫

5.　神経鞘腫

77　胃全摘出術後に起こりやすいのはどれか。

1.　多血症

2.　てんかん

3.　血小板減少

4.　逆流性食道炎

5.　高カルシウム血症

78　無意識の願望を意識的に気付きから排除する形での防衛機制はどれか。

1.　統　制

2.　抑　圧

3.　合理化

4.　知性化

5.　反動形成

79　創始者と心理療法の組合せで正しいのはどれか。**2 つ選べ。**

1.　Beck ―――――― 集団療法
2.　Freud ―――――― 自由連想
3.　Jung ―――――― 夢分析
4.　Rogers ―――――― 自律訓練法
5.　Skinner ―――――― 認知療法

80　加齢によっても保たれる精神機能はどれか。

1.　記銘力
2.　計算力
3.　注意力
4.　言語理解力
5.　情報処理速度

81　治療者が指示や助言を与え、非適応的な行動をコントロールすることを目的とした治療法はどれか。

1.　芸術療法
2.　森田療法
3.　精神分析療法
4.　来談者中心療法
5.　バイオフィードバック療法

82　脳の病変部位と出現しやすい症候との組合せで正しいのはどれか。

1.　黒　質 ――――― 感覚障害
2.　視　床 ――――― 嗅覚障害
3.　赤　核 ――――― 摂食嚥下障害
4.　線条体 ――――― 不随意運動
5.　扁桃体 ――――― 筋緊張異常

83　Daniels らの徒手筋力テストについて正しいのはどれか。

1.　筋を最大伸張させた肢位で行う。
2.　協働筋を個々に分離して評価できる。
3.　関節可動域に制限があれば評価できない。
4.　抑止テストでは徐々に徒手抵抗を強くする。
5.　筋収縮が全く認められない筋の判定は段階１である。

84　接触感染するのはどれか。

1.　MRSA
2.　結核菌
3.　風疹ウイルス
4.　麻疹ウイルス
5.　インフルエンザウイルス

85　原始反射のうち消失する時期が最も遅いのはどれか。

1.　Moro 反射
2.　足底把握反射
3.　緊張性迷路反射
4.　交叉性伸展反射
5.　非対称性緊張性頸反射

86　骨形成不全症で正しいのはどれか。

1.　強膜炎を合併する。
2.　遺伝性疾患ではない。
3.　視覚障害を合併する。
4.　二次的に側弯症を発症しやすい。
5.　治療にはステロイド薬が有効である。

87　視床痛で正しいのはどれか。

1.　CRPS〈複合性局所疼痛症候群〉Ⅰ型に分類される。
2.　脳卒中発症直後から出現する。
3.　聴覚刺激で疼痛が緩和する。
4.　非侵害刺激で疼痛を感じる。
5.　Lhermitte 徴候がみられる。

88 脳血管障害と治療の組合せで正しいのはどれか。

1. ラクナ梗塞 ―――――――――― 頸動脈血栓内膜剝離術
2. くも膜下出血 ―――――――――― クリッピング手術
3. 心原性脳塞栓症 ―――――――― 頸動脈ステント留置術
4. 一過性脳虚血発作 ――――――― コイル塞栓術
5. アテローム血栓性脳梗塞 ――― アブレーション手術

89 頭部CT(**別冊**No. **4**)を別に示す。

所見として考えられるのはどれか。

1. くも膜下出血
2. 硬膜外血腫
3. 硬膜下血腫
4. 脳動静脈奇形
5. 皮質下出血

別　冊

No. **4**

90 集中治療室での急性期リハビリテーションに関して正しいのはどれか。

1. 安全面から歩行練習は行わない。
2. squeezingでは呼気時に肺を圧迫する。
3. 頭部挙上位は全身状態が安定してから開始する。
4. 総腓骨神経麻痺の発生予防には踵部の除圧が重要である。
5. 体位排痰法では痰の貯留部位を下にした姿勢を保持する。

91　肺塞栓症について**誤っている**のはどれか。

1.　肥満が誘因となる。
2.　長期臥床が誘因となる。
3.　心電図所見は非特異的である。
4.　下肢よりも上肢の手術後に多い。
5.　深部静脈血栓症との合併が多い。

92　食道癌で正しいのはどれか。

1.　女性に多い。
2.　高血圧は危険因子である。
3.　好発部位は頸部食道である。
4.　組織型は扁平上皮癌が多い。
5.　ヘリコバクター・ピロリ菌が発症に関与する。

93　尿毒症で正しいのはどれか。

1.　腎不全の初期にみられる。
2.　代謝性アシドーシスを示す。
3.　低カリウム血症を生じやすい。
4.　透析患者の死亡原因で最も多い。
5.　血清クレアチニン濃度は低下する。

94　早期の前頭側頭型認知症で**みられない**のはどれか。

1.　幻　視
2.　常同行動
3.　病識低下
4.　自発性低下
5.　社会的対人行動の障害

95　介護保険制度で正しいのはどれか。

1.　COPD は特定疾患ではない。
2.　加入は 45 歳以上に義務づけられる。
3.　都道府県の介護保険係に介護認定を申請する。
4.　要介護認定の区分別支給限度額は同じである。
5.　要介護度の認定は介護認定審査会で判定される。

96　てんかんで正しいのはどれか。

1.　遺伝素因はない。
2.　意識障害が必発する。
3.　高齢発症は稀である。
4.　病因は特発性と症候性に分けられる。
5.　我が国の患者は約 10 万人と推定されている。

97　統合失調症に特徴的な思考の障害はどれか。

1.　思考が緩徐でうまく進まない。
2.　思考の進行が突然遮断され、会話が停止する。
3.　まわりくどく、要領よく思考目標に到達できない。
4.　観念の間に論理的な関連がなく、意識の混濁を伴う。
5.　観念が次々に沸き起こるが、つながりは表面的で目標から外れていく。

98　摂食障害について正しいのはどれか。

1.　摂食障害は女性のみに発症する。
2.　神経性大食症は神経性無食欲症より有病率が高い。
3.　神経性大食症では、自己誘発性嘔吐は認められない。
4.　神経性大食症から神経性無食欲症に移行することはない。
5.　神経性無食欲症では、過活動や運動強迫が認められない。

99　見捨てられ不安を特徴とするのはどれか。

1.　依存性パーソナリティ障害
2.　演技性パーソナリティ障害
3.　回避性パーソナリティ障害
4.　境界性パーソナリティ障害
5.　自己愛性パーソナリティ障害

100　概日リズムの障害による疾患はどれか。

1.　睡眠時遊行症

2.　ナルコレプシー

3.　睡眠相後退症候群

4.　むずむず脚症候群

5.　レム睡眠行動障害